

震災のきおく

私は、今回の震災講演会で、地震にあった
ことのある三好さんに話を聞きました。そし
て、阪神・淡路大震災の一日前の神戸でおき
たたつた震度1の地震が、とても大きな震度
6の地震をひきおこしたのなら、これから私
は小さい地震も、とてもこわいんだと思いま
した。こんな小さい地震なんだからなんてこ
とないわと思っ、ていましたが、南海トラフに
はきつとそんな思いじゃ、ためた、ちかんと考
えないと思いました。

震災講演会を通して

わたしは阪神・淡路大震災を経験していま
せん。でもこれまで何度も震災のことを聞い
てきました。それでも今地震が起きたら、安
全にひなんして、三十年前のようにならない
とは言いきれませんが、だから百パーセントと
は言えなけれど、しっかりとひなんするため
に前にあつたことについて知って考えて学ん
で、そして活かすということをしたいです。
しっかりとひなんできるように準備をしたり、
家族ともし地震が起きたらどこにひなんする
かなどを話し合ったりして、悲げさをくり返
さないようにしたいです。地震があつたけれ
どひなん訓練をしていたので死者はいません
でしたという風になればいいなと思います。
今まで学んだことを活かして備えていきたく
いと思います。

神戸海星女子学院小学校

神戸海星女子学院小学校

三度目の震災公演を聞いて
私は今日震災公演を聞きました。今日の公
演では主に阪神・淡路大震災についてお話を
聞きました。今はあたりまえのようにつきし
やまい環境が毎日を送っています。けれど三
十年前の一月十七日のこの場所は：と考がえ
るとむねがはりさけそうになりました。私が
一番心に残っているのは、あつこさんト小
学五年生の女の子が柱の下じきになつてなく
なされたお話です。自分と同じとしの子が三
十年前こんな事になつているとしりました。
今までよりもこの地震は他人事じゃないと
考じられました。私に今できることは、これ
からの時代にこの話を伝える事です。これが
らち、この地震を心にとめて毎日を送りたい
と思ふ日。

三十年間語りつがれてきたもの

今回、地震のことをたくさん学びました。

震災のきおくも次の世代に語りつがれたいな
いというところが大切なことをしりました。
人なに「備える」をしつても「ゴール」はない地震

私かなるとしてても「あいし不安」になりたり
すると思ひます。そんな中生きる希望をうし
なわずに生きた人達はともすかいと思ひま
す。私も次の世代に地震のことを語りついで

神戸海星女子学院小学校

いきたいです。毎年ありますが毎回おなじさ
る何かかど"人じん"大きくなっていていてる
ようです。

震災講演会

私は今日の話を聞いて阪神・淡路大震災のことも改めて知ることができました。私が一番おどろいたことがあります。それは阪神・淡路大震災で一番多くの人か亡くなったのは小学生だということ。私は今まで一番小学生が亡くなっていたとは思っていただけ。とてもおどろきとショックの気持ちでいっぱいになりました。私はそんなに阪神淡路大震災のことを知らないのだから、おこる地震にそなえられるように勉強していきたいです。三好さんと名倉さん、本日はおしえていただき、まことにありがとうございました。

よみがえる地震

お話を聞いて、たくさんの事を学びました。
私が、心に残っている事は二つあります。
一つ目は、いつ地震が来るか分からないこと
です。なぜなら、阪神淡路大震災では午前五
時四十六分五十二秒というあいまいな時間
にきました。そして、地震のきっかけとなる事
実はほんのちよつとした事でした。なので、
毎日ニュースを見て情報を頭の中に入れとき
たいと思います。二つ目は、自分の命は自分
で守る事です。30年前の地震で亡くなった
人は、お父さんにもう自分の事はいいからに
げろと決断しました。私は、最初から自分の
命を自分で守りたいと思います。
ていねいにせつめいしてくださり、ありがと
うございました。

私は、震災講演会を受けて、地震は一瞬で人の命をうばってしまふんだなと思いました。震災当時の写真を見て、今予想されていふ南海トラフ巨大地震がとても怖くなっただけで、三好さんのが、備えにゴールはないし、という言葉葉を聞いて、定期的に防災グッズをチェックしておこうと改めて思いました。そして、今何事なく平和に過ごしていることに感謝したいなと思えました。

神戸海星女子学院小学校
当時の様子が

ど水だけ地震がおきをからにに残っているのかを実感できました。

三好さんと名倉さんの話を聞いて、震災の話は次の世代に伝え、どれだけ震災が恐ろしいものかを教えようという気持ちになりました。

5-2

震災講演会を聞いて

わたしは、ラジオ関西が阪神・淡路大震災
が起きたすぐ後、神戸市長田区内の火事のげ
んばからすぐ生中けいしたのかすごいなと思
いました。

わたしは、神戸新聞社が京都新聞に泣きをか
らおねかけしていたという事を聞いて、いじ
でも新聞を神戸の震災にあつた人のために作
ていてすごいなと思いました。

神戸海星女子学院小学校

わたしは、これから震災にあつた人のために
震災の習った事をいかしてたくさんのお
ほえてもらえるよう伝えていきたいと思いま
す。

私が一番心に響いたのは、最初の方の火の海です。地震は物がたおれたり、こわれたりする以外に、津波や火事が起こります。ふつうに起こる火事に、地面のゆれ、たくさんのがれき加わると、どれだけの規模か考えたくもないほどです。さらに震災当時は冬。想像もしたくありません。火が移り、また移り、またまた移り。私の祖父は元消防士の指揮をする人で、長田に応援に行っただけです。その時の一番のハプニングは水が足りなくて、海から水をくんで火を消したことです。そこまで広がる火事を私は想像できません。

神戸海星女子学院小学校

私は本当の事を言つと、こんなおそろしい地震を忘れたいです。何も知らなかったことにしたいです。しかし今日の講演を聞いて、その気持ちほどここに消えてしまいました。想像もできないほどのゆれ、火事で亡くなってしまう方々がいないと今私はいないからです。私が今生きることができるのはこの地震のりこえた地域のみのおかげです。

だから私はこの阪神淡路大震災を忘れず、語りつないでいきたいです。

神戸海星女子学院小学校